



「シーウォーカー」を運営する愛南マリンサービスにお勤めの角田善彦さん(内泊)と宿毛市の環境省臨時職員笠貫ゆりあさんが、西海地域の鹿島でシーウォーカーを使った海中結婚式を執り行いました。ウエットスーツの上からタキシードとウエディングドレスをまとい、シーウォーカーのヘルメットを被った新郎新婦は、水深3メートルほどの式場で美しいサンゴの群生や色とりどりの熱帯魚が見守る中、永遠の愛を誓いました。(9/19)



9月中旬、愛媛県が県内の100歳以上の長寿者数などを公表し、城辺甲にお住まいで106歳の源務さん(1909(明治42)年7月生まれ)が県内男性の最高齢者であることが分かりました。長寿の秘訣は「農作業」。「畑に来ると元気になる」と話す源さんは、雨の日以外は毎日畑で野菜作りをされているそうです。



南宇和ライオンズクラブ(森岡知昭会長)が主催する御荘湾片の浜の清掃活動が実施され、愛南警察署や愛南漁協など11団体、約100名が参加して発泡スチロールや木くず、プラスチック類など海岸漂着ごみを回収しました。(10/10)



高齢女性が特殊詐欺被害に遭うのを未然に防いだとして、愛南署が久良郵便局に感謝状を贈りました。感謝状を受け取った同局の國光歩さんは、「普段からのつながりを大切にして、特殊詐欺の被害者を出さないようにしたい」と話しました。(9/17)



平成27年第3回町議会定例会最終日、2017年開催の「えひめ国体」のPR事業の一環として、町議会議員が国体啓発ポロシャツを着用して議会に出席しました。(9/17)



あんなにいいや、こんないい

HOME PLANET

写真 5

10/7 本物の芸術に触れる

福浦小学校で実施された「文化芸術による子どもの育成事業 一巡回公演事業一」で、公益財団法人 文楽協会による「人形浄瑠璃文楽」の公演が行われました。

この事業は、次代の文化の担い手となる子どもたちに優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供しようと文化庁の主催により行われています。今回の公演では、牛若丸と弁慶が京都の五条橋で主従の誓いを交わす有名な歴史上の伝説「五条橋」など2演目が披露され、福浦小児童をはじめ、船越小や中浦小児童のほか地域住民の皆さんが参加し、一流の舞台芸術を楽しみました。

また、舞台の合い間には、語りを担当する「太夫」、「三味線」、「人形」の三業に関する解説もあり、音程や息づかい、テンポを変える「語り分け」や「弾き分け」で登場人物の喜怒哀楽や状況の変化を伝えることなど、人形浄瑠璃の奥深さについて知識を深めました。

写真 6

10/2 JAZZ の魅力を間近で体感

愛南町の子どもたちにジャズの魅力を感じてもらおうと、日本を代表するジャズピアニストの山下洋輔さんやテナーサックスの峰厚介さんなどが出演し、城辺小学校体育館で「子どもたちのためのJAZZ LIVE」が開催されました。

ライブでは、「JAZZ in 四国(愛南町)」を翌日に控えた8人の一流ジャズミュージシャンが迫力ある生演奏を披露し、同小5、6年生や地域住民など、集まった約200人の観客は演奏が終わるたびに大きな拍手を送りました。

本日!海日和!! vol.60 「恋のチャンスは2倍」



ニシキウミウシ

この連載も60回を迎え、5年が終わった。よく続いたものだといながら感心する。紙面を提供してくださっている愛南町と読んでくださっている皆様には、感謝!感謝!である。

11月11日は、「いい夫婦の日」なので夫婦の話をしたい。でも、ちょっと変わった夫婦の話である。夫婦というと普通は男と女、生物学的には、オスとメスである。しかし、ウミウシの世界にはオスもメスも存在しない。一匹の体の中に精巣と卵巣を合わせ持つ雌雄同体という不思議な生き物である。オスでもありメスでもあるので、お気に入りの相手に出会うと精子を交換し、それぞれが産卵する。

メスだけが産卵する生き物と比べると、出会いの機会は2倍、産む卵の数も2倍になるというわけである。生存競争の激しい海の中で子孫を残すための工夫なのだろうが、我々には理解しがたい話である。

(撮影地:鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照



①

出発前に抱負を語る渡邊さん(写真中央)



③

60m 走親子対決



⑤



②



④

モンスターボックス



⑥

写真 1
9/ 25 カンボジアで
海外協力

国際協力機構 (JICA) の青年海外協力隊員として、9 月末からカンボジアに派遣されている下久家出身の渡邊吉子さんが、出発を前に愛南町役場を表敬訪問しました。

南宇和高校卒業後にアメリカで音楽を学んだ経験を活かし、カンボジアではマーチングバンドの指導や運営などの支援を行う渡邊さん。「素晴らしい挑戦の機会をいただいた。国の代表として派遣されるという自覚と責任を持って、現地の子どもたちの活動や地域を盛り上げたい」と意欲十分に抱負を語りました。

写真 2
9/ 26 運動会で
交通ルールを再確認

高齢者の交通安全意識の向上を図るとともに、健康増進と親睦を深めることを目的に、南宇和交通安全協会主催による「第 9 回高齢者交通安全運動会」が御荘 B&G 海洋センター体育館で開催されました。

運動会では、町内の高齢者や愛南警察署員など約 180 名が参加し、啓発用信号機を用いるなど交通ルールを盛り込んだ競技のほか愛南署一座「なーし」による飲酒運転撲滅の啓発劇も行われ、交通安全について考えながら楽しく汗を流しました。

写真 3 写真 4
9/ 26 スポーツの秋！
自己ベストに挑戦

南レク城辺公園多目的広場で「愛-1 グランプリ 2015」が開催され、体力自慢の愛南のアスリート約 130 名が参加しました。

出場者は、「100m 走」やサッカーのシュートでの的を狙う「キックターゲット」、10 数段にも積み上げることができる跳び箱「モンスターボックス」など 9 種目のうち、自信のある種目に挑戦し、さわやかな汗を流しました。